

野木町地域公共交通計画（案）に関する意見募集の結果について

- ◆募集期間 令和5年11月27日（月）～令和5年12月26日（火）
- ◆意見提出結果 提出者数 4名 意見件数 5件
- ◆意見書提出方法 文書提出 4名
- ◆町内在住者 4名
- ◆担当課 都市整備課

●意見の概要と意見に対する対応・考え方について

No.	頁（条項）	意見の概要（要旨）	検討結果	意見に対する考え方（結果説明）
1	p. 38	<p>バスのドライバー不足等により、バス事業者も運行を縮小している中、デマンド交通「キラ輪号」の利用を促進することは、町内交通の持続可能性を考える上で良策であると考えます。</p> <p>しかし、現状のデマンド交通「キラ輪号」は利用しにくく、敷居が高い印象があります。そのため、定時定路線運行の方が、より利用しやすいのではないかと思います。併せてコミュニティバスの導入、おーバス（渡良瀬ライン）の野木町内の停留所設置と野木駅西口への乗り入れを検討してほしいです。</p>	ご意見として承ります。	施策 2-1「路線バスの調査・研究」にて、いただいたご意見も含め検討してまいります。
2	—	<p>デマンド交通「キラ輪号」は平日のみの運行、運行時間の制約があるため、大幅な利用者数の増加は見込めないのではないかと考えます。</p> <p>また、タクシーについても、夜間における野木駅での利用は、安全性の観点からも推奨できません。</p> <p>これらの現状を踏まえ、ライドシェアの導入を検討してほしいです。</p>	ご意見として承ります。	<p>デマンド交通「キラ輪号」では、利便性の向上に向けて、AI デマンド交通システムの導入を検討しており、引き続き導入に向けて調整を進めてまいります。</p> <p>また、必要に応じ、ご提案いただいたライドシェアも含め、町民の皆様の移動がより便利になるよう、交通事業者等の関係者と町内の交通施策の検討を進めてまいります。</p>
3	—	<p>デマンド交通「キラ輪号」等地域公共交通において、1つ目の目的地から2つ目の目的地に移動できる等、複数の目的地間を移動できるように委託契約を検討してほしいです。</p>	ご意見として承ります。	<p>現在の運行では、複数回に分けて予約していただくことで、複数の目的地に行くことは可能です。</p> <p>現在、AI デマンド交通システムの導入を検討しており、こちらのシステムを導入することで、運行便の枠がなくなり、予約後すぐに配車対応が可能となります。1つ目の目的地から2つ目の目的地に行く際にその場でご予約いただけるようになりますので、いただいたご意見も踏まえ、導入に向けて調整を進めてまいります。</p>
4	—	<p>自宅近隣の生活において、身近に使用できる交通手段として電動アシスト付き自転車が挙げられます。地域公共交通の拡充だけでなく、電動アシスト付き自転車の導入促進のための補助金制度について検討してほしいです。</p>	ご意見として承ります。	<p>電動アシスト付き自転車については産業振興課商工観光係の事業でレンタサイクルとして、野木駅、野木町役場、野木町交流センター「野木ホフマン館」、野木町ボランティア支援センター「きらり館」にポートを設置しております。</p> <p>ご提案いただきました施策につきましても、他課とも連携し、検討してまいります。</p>
5	p. 38	<p>身体障害者手帳を持っています。</p> <p>出勤時に雨が降っているとタクシーを呼ぶこともあり、移動にかかる費用がかさみます。また、夜は駅にタクシーがない時があり、歩いて帰ることもあります。土曜日に病院に行く際もデマンド交通「キラ輪号」が運行していないため、天気が悪いと不便です。</p> <p>朝6時頃からバスやタクシーを1時間に1本でも良いので運行してほしいです。高齢者だけでなく、障がい者にも優しい公共交通の実現を望みます。</p>	ご意見として承ります。	<p>障がい者の方に向けて、健康福祉課社会福祉係の事業で福祉タクシー利用券の交付を行っておりますので、もし福祉タクシーをご利用される際は、こちらの制度につきましてもご確認いただけますと幸いです。</p> <p>また、バス、タクシーの定時運行につきましては、施策 2-1「路線バスの調査・研究」にて、いただいたご意見も踏まえ検討してまいります。</p>